

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 開催地名 | 長野県須坂市                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 開催日時 | 令和6年2月3日（土） 14：00 ～ 15：30                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 開催場所 | 須坂市消防本部                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 語り部  | 平澤 つぎ子 （千葉県旭市）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 参加者  | 市、関係機関、住民 60 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 開催経緯 | <p>当市では、昭和 56 年 8 月 23 日の台風 15 号により発生した土石流で 10 名の尊い人命が奪われ、甚大な被害を受けたが、40 年以上が経過し、災害経験の継承が課題となっている。 また、令和元年東日本台風により千曲川が越水し、床上・床下浸水などの被害を受けたが、年とともに防災意識が薄れており、大規模災害に対する自助・共助の意識向上が課題となっている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 内容   | <p>（１）はじめに</p> <p>上記、開催経緯は風水害中心であるが、能登半島地震から丁度 1 か月、その被害の甚大さを鑑み、地震と風水害を共に扱いたい。</p> <p>自然災害としては、①台風・豪雨、②雪害、③火山噴火、④地震、⑤河川氾濫・洪水、⑥高潮・津波、⑦土砂災害等があげられる。地震は時や場所を選ばず突然振動するし、火山は噴火する。大地震の後には余震もあり、土砂災害や津波の恐れも加わり、人命にかかわる。ライフラインは乱れ、日常生活もままならない状態が続く。</p> <p>一方、台風や豪雨については事前に予報が出る。日時、方面、雨量、風力の予想がつくので、直前の備えもある程度できる。とは言え、風水害により命を落とす例は最近特に多く見られ、生活を脅かす災害といえる。</p> <p>（２）東日本大震災発災時の旭市の状況</p> <p>3 月 11 日 14 時 46 分、震度 5 強の揺れ、約 30 分後、再度震度 5 強の揺れに襲われた。最初の揺れから約 1 時間後の 15 時 50 分、津波の第 1 波が到達した。第 2 波は更に 30 分後の 16 時 20 分到に到達。防災無線の指示により急遽避難した人々は、ここで津波は一旦落ちついたと思い、自宅が心配になり戻りはじめた。その時、7.6m の最大津波が襲来。17 時 20 分であった。状況を短歌に詠んだ人がいる。</p> <p>「超スピードの 汚濁の渦が 電柱に しがみつく命 離しつれ去る」</p> <p>死者 14 名、行方不明者 2 名の被害を出した。</p> <p>道路は、津波によって運ばれた車、漁港からの船、家屋の一部や屋根に加えて、雑物が重なり、通行止めになっている。液状化現象も起きた。家屋は傾き道路は波打ち、泥沼化した。民家の裏山約 100m にわたってのがけ崩れは、数か所で発生した。</p> <p>（３）避難所の状況</p> <p>発災当日の避難所は 11 か所。約 3,000 人の被災者が身をよせた。遅れて避難所に駆け付けた人の多くは、潮水を被り、濡れた着衣と持ち物、土足であった。ペット連れなど</p> |

で問題も起きた。何よりも困難を極めたのは、停電・断水の中でのトイレの使用である。避難所は3日後に4か所に絞られた。

避難所は狭い。思うように手足を伸ばせる状況にない。子どもの泣き声とか騒ぎ声も気になる。他人のいびきで眠れない。プライバシーもなく、経済的なことや家族の話も出来ない等の環境にある。また、精神疾患、持病、結核、その他感染症の人が隣りにくることがある。支援物資や炊き出しは、数多く、感謝していたが、高齢者には食べられないものもある。ある程度の「衣食住」は保ちたい避難所である。

私は地震発生の翌日3月12日から仮設住宅に移る5月21日までの間、71日間のボランティアをした。食事関係（おやつ、昼食の配膳、夕食・朝食の下準備）、保健衛生面（掃除、窓の開閉、ごみの始末、体調の観察）などの活動である。でも、一番心掛けたのは被災者の思い・心の面を大切にすることであった。廊下に並んでいる豪華な花よりも、家の庭先から摘んでいった水仙の花の前で、立ち止まって黙って眺めていく被災者。私から話しかけなくてもいい。傾聴、話し相手、相談など時に応じればいいと思った。

生活が一変し、やり場のない心情を詠んだ句を紹介したい。

「今までの 生活一体 何なんだ 更地に立ちて 天をば睨む」

車は勿論のこと生活用品の全てを失くし、皿小鉢、箸一膳すら無くなった。助かったのは命のみである。心して寄り添いたいと強く念じた。

#### （4）風水害について

令和元年、千葉県では3回の風災害により、人命に及ぶ多くの被害が出た。

①9月13日・台風15号：風台風（千葉市最大瞬間風速、57.5m）により家屋・電柱・樹木の倒壊。長期間の停電。通信障害。農産物の被害。

②10月12日・台風19号：雨台風により堤防決壊・河川氾濫・水上バス出動・土砂災害。こんな時に竜巻（市原市。車ごと飛ばされ男性死亡）と地震（館山市、震度4）発生。時を同じくして、須坂市においても千曲川の越水により床上浸水等の被害あり。

③10月25日・房総豪雨：県内各地集中豪雨。15河川氾濫。道路冠水。田畑増水。農業用ハウス倒壊。帰宅困難児童生徒学校泊（小学生14名・中学生73名）。主要道路は車渋滞と濁流。県内死者9名に及ぶ。

どの時も気象庁からの予報は勿論でている。しかし、被害は甚大。「ここは大丈夫」などの正常性バイアス、協調性バイアスという意識を持たず、即行動に移したい。

雨は止んでも車での移動は要注意である。アンダーパスやがけ崩れの危険。車は深さ30cmで身動きが出来なくなることもある。

風害、水害だけでなく、土砂災害（土石流・地すべり・がけ崩れ）についても予兆がある。日頃から知識、意識として身につけておきたい。

「洪水からの避難5ポイント」その中でも特に風雨の中や水中を歩く場合、幼児、高齢者がいれば、ロープなどの準備は欠かせない。

(5) 自主防災組織・女性部の皆様へ

自主防災として活動する。その為には先ず「自助」が出来ていなければならない。平時に物の備えをしておく（備蓄品・持ち出し品・ローリングストック）また、種々の家具を固定し、自分と家族の命が守れるようにしておく「自助」である。次に、自主防災組織として活動する「共助」である。地域の情勢を熟知している自主防災組織の会員だからこそ、ニーズに応えられる。「共助」の力が発揮できる。日頃養成している知識、意識、技能（例、消火器の備えはあっても使えないでは困る）。そして、向こう三軒両隣、日頃のコミュニケーションが救命に大きく役立つ。

「公助」はどうか。過去の大きな災害を参考にするなら、公的機関は災害直後は期待できない。「公助」は災害後に重要。自助・共助・公助が相俟って地域防災力が高まる。

(6) まとめ

予知なく突然発生する地震、予報があっても命に関わるような風水害。こんな自然災害を今の私たちは阻止することができない。

「天災は忘れた頃にやってくる」と言われるが、「天災は忘れないうちにやってくる」今は「忘れてもやってくる」であろう。「物」と「心」両面からの「備えあれば憂いなし」と考え、即、実行に移そう。



開催地より

地震・風水害対応の課題について、ご自身の経験に基づいた課題解消のために行った行動をわかりやすく聞くことができた。自助・共助・公助そして近所が円滑に連携できるよう、防災意識を向上していきたいと思う。